

AEDボックス設置のお知らせ

先日、教育委員会からの通知をお渡ししましたが、市内の小中学校で校舎の外にAEDボックスが設置され、今まで児童・生徒の命を最優先に考えて各学校に配置されていたAEDを、そのボックスの中に24時間入れておくことになりました。小中学校の校長会としては、毎年、「AEDがあってよかった。」「子どもの命が救われた。」という事が、市内のどこかの学校で起っていることから、2台目のAEDが配置されてからの対応でいいのではないかと、もし2台目のAEDがあればボックスも設置場所が変わるのではないかと（保々小であれば、本来体育館入口に設置する方がよいと思われます。雨風と直射日光を防げることと、社会体育の多くが体育館で行っていることから）といった視点で、今回の対応については納得できないという意志を示してきました。それも承知の上での教育委員会からの指示を受けての対応であったことを、ご理解ください。



「もっと目立つところになぜ設置をしないのか」（→雨風と直射日光が防げて、毎日職員が点検をしなければならないことから、職員玄関横が最も適した場所と判断しました。）「社会体育でと言うなら、体育館入口に設置して欲しかった」（→運動場でもAEDを必要とする場合があります。また、教室でAEDを必要とする事案が起こった場合、インターホンで職員室にAEDを持って来てほしいという連絡が入ることから、職員室から遠い体育館入口には設置できませんでした。盗難防止のためふたを開けるとブザーが鳴るため、その音が職員室に聞こえなければなりません。）と言ったご意見・ご質問が、すでに学校に寄せられていますが、上記の（ ）内に示したようなことがありましたので、現在の所に設置させていただいたことをご理解ください。

引き続き、各小中学校に2台目のAEDが設置されるよう、そして、子どもの命を第1に考えてこうした計画を進めてほしいという意見を、伝えていきたいと考えています。

体育館に、電話ボックス設置のお知らせ

小学校は大地震の時などは、保々地区の避難所になる予定です。今年の4年生は総合学習で体育館が避難所になった時には、どうすればみんなが安心して避難することができるか、自分たちにもできることがあるのではないかと、考えてきました。

また、東日本大震災の被害が大きかった東北地方・関東北部では、再び大きな地震が起きる確率が、私たちの想像をこえた数値として先日発表されました。その発生確率の高さから、改めてこの日本はいつ大震災が起こってもおかしくない国なんだなあと思いました。四日市市では、こうした市民のみなさんの不安が少しでも解消されればということで、防災倉庫の中身を設置場所のニーズも考えて整備され、四日市市北部の拠点として、四日市東インターの近くに、大きな防災倉庫が設置されたりしてきました。さらに、今回は避難所となる小中学校体育館の入り口に、災害時に利用できる公衆電話が設置されることになりました。順次に、電話回線が引かれ、電話本体が設置される予定と聞いています。

